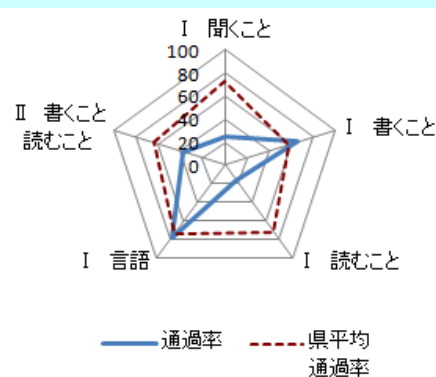
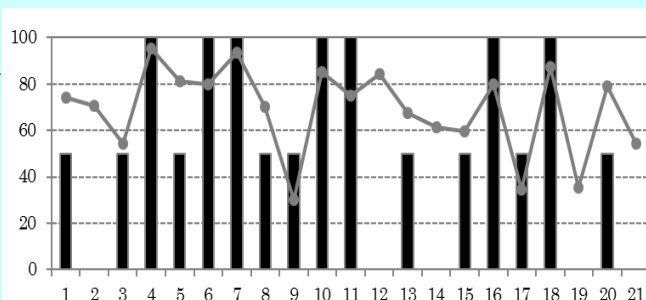


「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校54.8%, 県69.2%)

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



本年度の結果について

○タイプⅠでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」(文法や漢字)は一定程度の定着が見られるが、「読むこと」の領域の、100字以内に登場人物の心情をまとめるが0%、タイプⅡでは、「書くこと読むこと」の領域の「情報を取り出し、伝えたい事実の明確な記述」を130字以内でまとめるが0%であった。

○100字から150字程度で文章をまとめることが課題である。文中から、場面の状況や登場人物の心情が汲み取れていないことや、文中の内容を理解し、必要な情報を取り出せていないことが原因である。

重点課題

【課題1】

設問14「登場人物の心情の把握」(タイプⅠ 通過率0%)
場面の状況や登場人物の心情が正しく読み取れていないため、字数を満たしていても誤答になる。

【課題2】

設問21「情報の取り出し、伝えたい事実の明確な記述」(タイプⅡ 通過率0%)
情報が正しく取り出せていないために、字数を満たしていても誤答になる。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法(授業)

【課題1】小説・物語文の読解力をつけること。どんな場面なのかイメージでき、登場人物がどんな心情でいるのかを正しく読み取れるようにする。本校の生徒は、成育歴の中で、家族からの愛情や周囲の人からの愛情を受け、仲間や周囲の人を大切にするという情緒的な面の成長が著しくそがれており、他人の心情を思いやって理解し、汲み取ることがとても苦手である。より多くの作品に触れさせ、心豊かに感性を磨けるようにしていく。

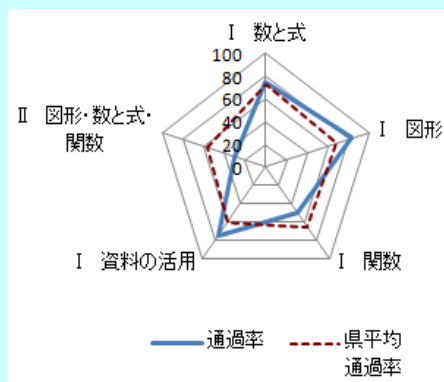
【課題2】説明文の読解力をつけること。段落ごとの内容や本文全体の要旨を把握できるようにしていく。さまざまなジャンルの説明文を読み、要旨をまとめることを中心にしていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年定期試験			全学年定期試験		全学年定期試験	1年生H28基礎基本
目標値	60%			60%		60%	70%
実施後数値							

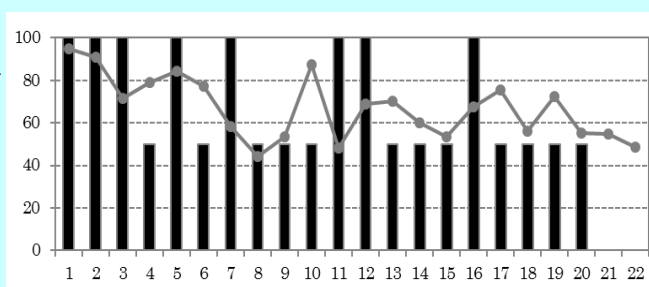
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年定期試験			全学年定期試験		全学年定期試験	1年生H28基礎基本
目標値	60%			60%		60%	70%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校63.6%, 県66.9%)

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



本年度の結果について

- 調査全体の母集団の数が少なく、結果が偏った部分もある。本校の生徒は、転入前に家庭学習の習慣が身に付いていないため、知識の不確実な部分がみられる。4月の一カ月で、1年生の内容の復習を試みた結果、基礎的・基本的内容が定着しつつあり、タイプIが70.8%、と県平均よりも高い。しかし、タイプIIが30%と県平均よりも大幅に低く、数学全体の平均通過率も63.6%であった。通過率が0%の問題も2問あった。
- タイプIの数と式・図形・資料の活用の部分を重視して1年時に指導することで、県平均通過率を上回ることができた結果をみても、基礎的、基本的な部分においては定着しつつある。しかしタイプIの関数においては、通過率が50%、タイプIIの図形・数と式・関数においては、通過率が30%であり、県平均通過率を下回っていることから、関数分野における課題が見られる。

重点課題

【課題1】

設問21 (タイプII 通過率0%) は表と式から関係性を導き出す問題であり、比例・反比例の式の判断が不十分な生徒が100%であった。分数の形から、比例と解答していた。

【課題2】

設問20 (タイプII 通過率50%) は、方程式の文章問題であり、理由を説明する問題であった。長い文章のため、問題文の読み取りが不十分であり、どのように解答すればよいか分かっていない生徒が50%であった。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

関数領域の分野で、どの学年でもしっかりと表、式、グラフを関連付けて教えていきたい。また、定着を図るために、その時期だけ教えるのではなく、定期的に課題を出して定着を図っていく。

【課題2】

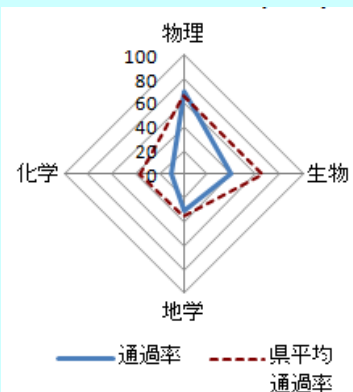
文章問題での解き方を理解させ、定期的に課題を出していく。解き方として文章の説明をしている文なのか、グラフを説明している文なのか、表の説明をしている文なのか、問題に関わる文なのかをはっきりさせるため、ポイントとなることを線や文章を囲むなどして、文章問題に慣れさせていく。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		全学年授業内 小テスト		全学年定期試験		全学年定期試験	1年生H28基礎基本
目標値		50%		60%		70%	70%
実施後数値							

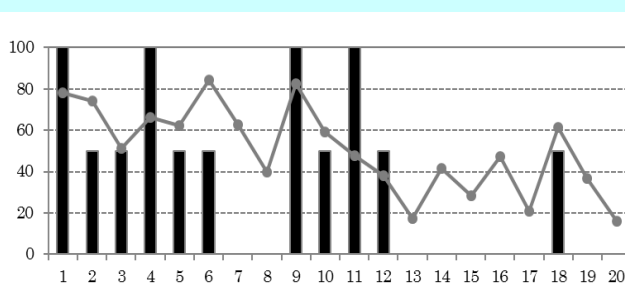
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法		全学年授業内 小テスト		全学年定期試験		全学年定期試験	1年生H28基礎基本
目標値		50%		60%		70%	70%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校 37.5%, 県 50.8%)

領域別平均通過率



設問1の平均通過率



本年度の結果について

○調査全体の母集団の数が少なく、生徒個々の状況が反映される結果となっている。本校の生徒は転入前に授業に位置づいていなかったり、家庭学習が十分できていなかったりするために、未履修の部分や知識の不確実な部分が多くみられる。基礎的・基本的内容が身につけていないことから、タイプI、タイプIIともに課題が見られ、理科全体の平均通過率は37.5% (昨年度36.5%)であった。通過率が0%の問題も9問あった。
○本校は生徒の転出入が多く、在籍期間も約1年間であることを踏まえた取組みを各教科で行う必要があると考える。

重点課題

【課題1】

設問6の(1) 示準化石、設問8の(1) 融点 (ともにタイプI 通過率0%) では、教科書に太字で出てくるような基本的な科学用語が定着していない。

【課題2】

設問2の(3) 仮説を検証するための条件制御、設問7の(3) 仮説に基づいた実験結果の予想 (ともにタイプII 通過率50%) では、ともに「仮説」に対する実験の意味を考えられていない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題1】

既習事項であっても、定着していないものが多いので、授業の中で関連する語句や項目を確認する場面を多く設定する。特に前時の授業での重要語句は、授業の始めに確認していく。また、短時間の実験で確認できる事項 (例：指示薬の色など) は、実際に実験を行うことで確認し、定着を図っていく。

【課題2】

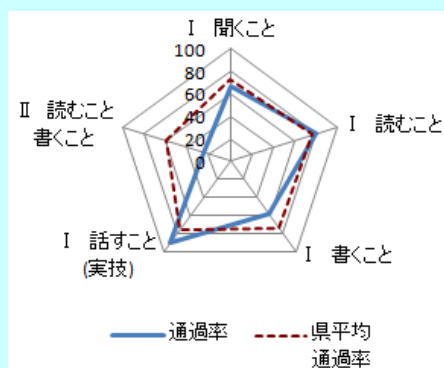
本校の実態から、「仮説を立て実験を計画する活動」がこれまで不十分であった。今年度より、教科書に出ている実験であっても、生徒に考えさせる材料を提示できれば、「何を調べればよいか」「実験で何を見ればよいか」を考えさせるようにしている。その上で観察や実験の結果からどのようなことがわかるかをまとめさせたい。

【課題1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年定期試験			全学年定期試験		全学年定期試験	1年生H28基礎基本
目標値	60%			60%		60%	70%
実施後数値							

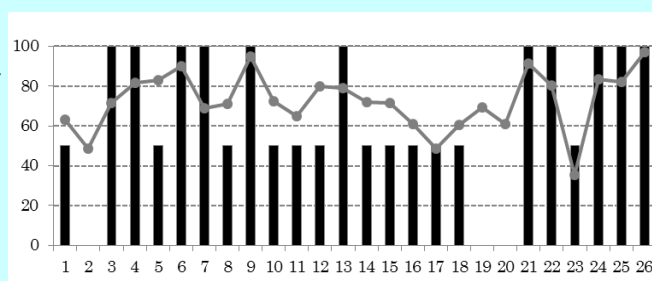
【課題2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年定期試験			全学年定期試験		全学年定期試験	1年生H28基礎基本
目標値	60%			60%		60%	70%
実施後数値							

「基礎・基本」定着状況調査 本年度通過率 (本校65.4%, 県72.4%)

領域別平均通過率



設問11-2の平均通過率



本年度の結果について

- ・タイプ I は 73.8%、タイプ II は 25% の平均通過率である。1 年次の基礎的・基本的な内容について定着が全体的に不十分であると考えられる。(特に書くことの領域では 58.3% 聞くこと 66.7%) そのためタイプ II のような学習した知識や技能を活用したり英語で表現したりする力には課題がある。
- ・本校は生徒の転出入が多く、個々の学習状況は個人差が非常に大きい。少人数指導の利点を生かし、個に応じた細やかな指導を行い、基礎学力の定着を図ることが必要と考える。

重点課題

【課題 1】

設問 1-2 (タイプ I) リスニング (英語での問いかけに対する適切な応答) の問題の通過率が 50% と 0% で英語の質問が聞き取れていない。(タイプ I)

【課題 2】

設問 11-2 (タイプ II) (適切な質問を考え英文を書く) の通過率 50% 答えの文の主語に注目して、それに合った質問文を正しく英語で書くことができない。

重点課題に対応した改善指導内容及び方法 (授業)

【課題 1】

リスニングの際に聞き取りのポイントを示し、全体の流れから大切な部分をつかむ指導を継続的に行う。英語による指示や対話など授業における英語使用場面を増やし、英語による応答に慣れさせる。

【課題 2】

帯活動として Q&A の反復練習を行い、主語と動詞が整った応答の型を定着させる。主語、動詞、疑問詞など視覚的に文構造を理解させる板書やノートづくりを行う。

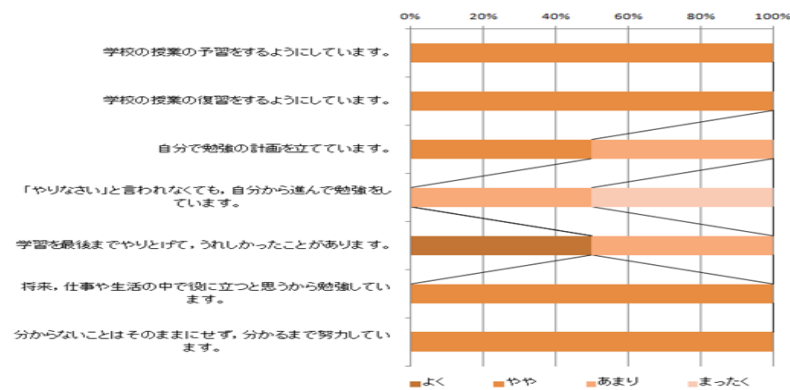
【課題 1】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年定期試験			全学年定期試験		全学年定期試験	1年生 H28 基礎基本
目標値	60%			60%		60%	70%
実施後数値							

【課題 2】	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学年・方法	全学年定期試験			全学年定期試験		全学年定期試験	1年生 H28 基礎基本
目標値	60%			60%		60%	70%
実施後数値							

質問紙調査（「基礎・基本」定着状況調査：生徒質問紙調査）

(1) 生活・学習

学習習慣・学習動機・学習意欲

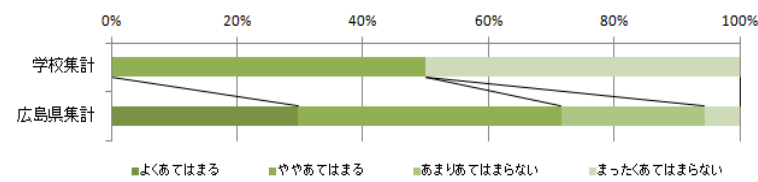


生徒の回答についての課題（現状値）	今後の具体的な取組の内容	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
「やりなさい」と言われなくても、自分から進んで勉強をしています。 よくあてはまる 0.0% ややあてはまる 0.0% あまりあてはまらない 50.0% まったくあてはまらない 50.0%	「学習を最後までやりとげて、うれしかったことがあります。」の質問では肯定的回答が 50.0%である。授業や行事等で目標を持たせ、意図的に仕組みで、最後までやりきらせることと生徒が自ら進んで取り組んでいることに対して肯定的評価を行う。	全	肯定的回答を 65%	アンケート	学年末		

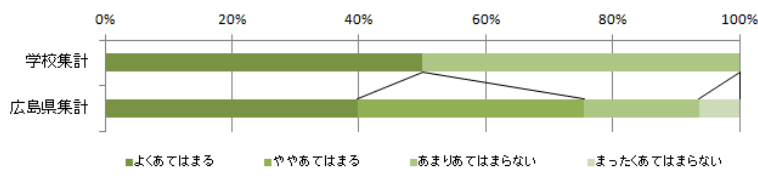
※肯定的回答が 0%

(2) 教科

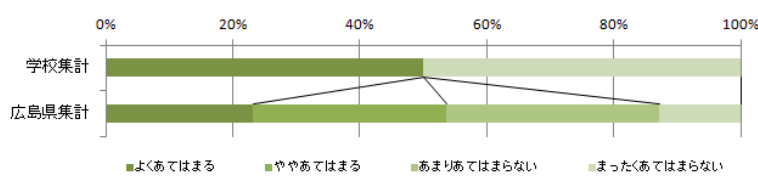
段落と段落のつながりや文章全体の組み立てに注意して文章を読んでいます。



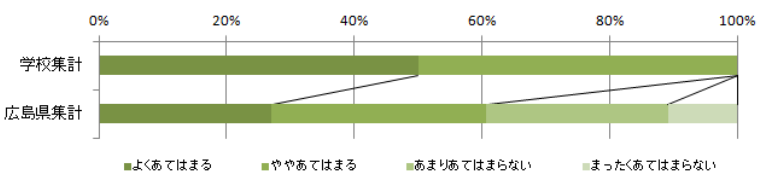
問題を解くときには、前に習ったことが使えないかいつも考えています。



理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしています。



英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。



	生徒の回答についての課題（現状値）	授業改善の方向性や具体的な取組	学年	目標値	検証方法	検証時期	実施数値	現状からの伸び
国語	「段落と段落のつながりや文章全体の組み立てに注意して文章を読んでいます。」に対して肯定的な回答が 50%であった。	段落相互の組み立てや要旨を捉えることを中心に、筆者の意図や思いが読み取れるように、さまざまなジャンルの文章に触れさせていく。	全	70%	校内で実施する授業アンケート	2月		
数学	「問題を解くときには、前に習ったことが使えないかいつも考えています。」に対して肯定的な回答が 50%であった。	単元のはじめの授業では課題提示をした後に、前（下の学年）に習ったことがないかを確認する。また、単元の中ごろと終わりの授業では前の授業で習ったことがないか確認する。	全	70%	校内で実施する授業アンケート	2月		
理科	「理科の授業では、自分の考えをまわりの人に説明したり、発表したりしています。」に対して肯定的な回答が 50%であった。	基本的な理科用語を定着させるためにも、授業中に理科用語を用いながら自分の考えを説明させる場面を多く設けていく。	全	70%	校内で実施する授業アンケート	2月		
英語	「英語の授業では、自分の考えや気持ち、事実などを英語で話しています。」に対して肯定的な回答が 50%であった。	帯活動として Q&A やチャットなど対話を通して自分の考えや気持ちを伝えあう場面を設定し定着を図る。	全	70%	校内で実施する授業アンケート	2月		